

# Business News

第288号

三井住友海上経営サポートセンターでは、会員企業・法人の経営者の皆様から各種経営相談をお受けしています。またBusiness Newsを定期的にお届けして皆様に各種経営情報をご提供いたします。本号は、これからの時代に選ばれる企業のキーワードである「SDGs」について、概要をご案内いたします。

## ポストコロナ時代の経営／SDGs経営とは

持続可能な世界の発展のための開発目標として国際合意された、「SDGs」への関心が急速に高まっています。これからの時代に「選ばれる企業」となるために、SDGsを理解し経営に結びつけ、事業を通じて取り組むことが求められています。

### 1. SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) とは

2015年9月、国連で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」で設定された、17のゴール(目標)のことです。17のゴールはさらに169のターゲットに細分化されています。2030年までに、あらゆる貧困に終止符を打ち、不平等と闘い、気候変動に対処し、「誰も置き去りにしない」ための取組が掲げられています。

「SDGs」という世界共通のキーワードにより、社会・経済・環境に関わる課題やそれを解決するための取組に対する関心が高まっています。こうした課題解決への取組には、国家や個人だけでなく、企業の参加が不可欠です。最近では、取引先や就職先、商品・サービスの購入先として、SDGsに取り組む企業が評価されるようになってきています。

### 2. SDGs経営に取り組み、チャンスひろげましょう

SDGs経営とは、SDGsを経営と結びつけることで、事業を通じて社会・経済・環境の課題解決に取り組み、企業価値の向上につなげていく経営のことです。

企業にとってSDGs経営に取り組むことは、世界全体がSDGsの達成を目指す中で、自社の存在意義を高めるとともに、新しい市場を得るための「機会」に繋がります。一方で、環境や人権などを無視した経営を続けていけば、企業の評判が下がる、取引先から外される、消費者が買ってくれなくなる等、企業の存続を揺るがす「リスク」をもたらします。

### 3. SDGsの取組プロセス(例)

- (1) 「SDGsが求めていること」について、社内勉強会等を通じて、経営陣や社員全員が同じ目線で理解しましょう。
- (2) トップダウンだけでなく、社員全員から自社が取り組むSDGsについての意見やアイデアが出てくるような社内風土や、社内横断のプロジェクトチームを作りましょう。
- (3) 自社の「強み」と社会への悪影響を洗い出し、SDGsと紐づけて、自社が貢献できるものは何か、優先課題を特定しましょう。
- (4) 社会に対して新たな価値を創造できるような、高い目標(将来の会社の姿)を設定しましょう。
- (5) 掲げた目標に到達するための道筋を考え、実践しましょう。自社だけで解決できないような課題は、社外と連携することで外部の知恵やノウハウを活用しましょう。
- (6) 取組内容を社外にアピールし、自社の理念に共感する顧客、支援者を開拓しましょう。

SDGsの取組には、「フォアキャストニング」(現在の延長線上にある未来を予測する)ではなく、「バックキャストニング」(望ましい未来からどうすべきかをアプローチする)の視点が大切です。すなわちSDGsと現在のギャップを知ること、2030年の最終目標を考えてから計画を立てることが重要です。

- ・2021年1月13日にWeb経営セミナー「新年を笑顔で元気に！コロナ禍を跳ね返す！ビジネスチャンスを見つけ方～地域と企業に笑顔を取り戻すSDGsとビジネスマッチングの活用法～」を開催いたします。詳細・お申込は、三井住友海上オフィシャルサイト「セミナー情報」をご覧ください。
- ・SDGs経営の取組を支援いたします。当社窓口の営業課支社または代理店までお問い合わせください。

このニュースは三井住友海上経営サポートセンターの会員様に発信しております。

三井住友海上火災保険(株) 101-8011 東京都千代田区神田駿河台3-9 TEL03-3259-1443 URL <https://www.ms-ins.com/business/keiei-support/>

※三井住友海上では、外部専門家と連携し、企業・法人経営者の皆様へ有益な情報を提供しています。

N288